

第4回流山市補助金等審議会会議録

- 1 開催日時 平成30年12月4日(火) 午前9時30分から
- 2 場 所 流山市役所第2庁舎3階305会議室
- 3 出席委員 山口会長、中村副会長、西村委員、田中委員、山本委員、川上委員、
神田委員
- 4 欠席委員 なし
- 5 事務局 高崎財政調整課長、福吉課長補佐、加茂副主査、淀江主事、
加藤臨時職員
- 6 傍聴者 なし
- 7 議 題
 - (1) ヒアリング結果について
 - (2) その他
- 8 配付資料
 - (1) ヒアリング対象補助金等審査表集計
 - (2) 平成31年度予算(要求)対前年度比較表
 - (3) 補助金等調査票・補助金等適正化実行プランの差し替え
(荒廃農地有効活用奨励金)
(商業振興共同施設設置等事業費補助金)

開 議 9時30分

(山口会長)

ただいまから第4回流山市補助金等審議会を開催いたします。

本日の会議は、全員出席ですので会議は成立していることをご報告します。

なお、あらかじめご報告申し上げますが、流山市では、審議会等の会議は原則公開としておりますことから、本審議会は公開といたしますので、あらかじめご了解をいただきたいと思います。

また、本日はヒアリング結果についてを議題とします。

はじめに、事務局から配付資料等について説明をお願いします。

(事務局)

本日の配付資料は、A4の「平成31年度予算(要求)対前年度比較表」とA3の資料「ヒアリング対象補助金等審査表集計」で、委員の皆様から事務局に頂いた評価表を一覧表にまとめたものの2点と、前回の審議会の中で資料の記載内容等について指摘を受けたものについての差し替え資料(実行プラン2件)の提出がありましたので併せて配付いたします。

次に、前回の審議会の中で農業振興課から「荒廃農地有効活用奨励金」の要求額を46万円と説明がありましたが、これについては財政調整課との調整の中で齟齬があり、実行プランに記載した要求額のとおり60万円でありますのでご了解ください。

また、今回のヒアリング対象外ではありますが「認定農業者支援事業」の要求額を250万円として資料を配付しましたが、後日、担当課から190万円に変更して要求がありましたのでご報告いたします。

事務局からは以上です。

(山口会長)

それでは、早速、議題1ヒアリング結果について、事務局からの資料では、各委員の皆様の評価結果が一覧になっておりますので、審議会としての総合評価を決めたいと思います。

それでは、早速始めさせていただきます。

A3集計表の1ページ「受動喫煙防止対策助成金」については、A評価6名、B評価1名ですので、総合評価はA評価にしたいと思います。

次に、「立地企業等協力金」は、A評価5名、B評価2名ですので、総合評価はA評価にしたいと思います。

次の、新規事業「就労支援施設利用者負担助成金」は、全員A評価になっておりますので、総合評価もA評価です。

次の、「私立保育所等AED設置事業補助金」も、全員A評価ですので、総合評価もA評価です。

次の2ページ「私立幼稚園AED設置事業補助金」も、全員A評価ですので、総合評価もA評価にしたいと思います。

次の、「流山花火大会事業補助金」は、A評価6名、B評価1名ですので、総合評価はA評価にしたいと思います。

次の、「農林水産業の振興に関する補助金(荒廃農用地有効活用事業奨励金)」は、A評価4名、B評価3名と意見が分かれておりますので、総合評価は後から協議したいと思います。

次の、「農林水産業の振興に関する補助金(米飯給食における地産地消推進事業)」は、A評価5名、B評価2名ですので、総合評価はA評価にしたいと思います。

次の3ページ「農業振興資金利子補給金」は、全員A評価ですので、総合評価はA評価にしたいと思います。

次の、「土地改良施設維持管理費補助金」も、全員A評価ですので、総合評価もA評価にしたいと思います。

次の、「流山商工会議所事業補助金」は、A評価6名、B評価1名ですので、総合評価はA評価にしたいと思います。

次の、「商業振興共同施設設置等事業費補助金」も、A評価6名、B評価1名ですので、総合評価はA評価にしたいと思います。

次の4ページ「商店街空き店舗有効活用事業等補助金」は、全員A評価ですので、総合評価もA評価にしたいと思います。

総合評価につきまして以上でございますが、意見が分かれた事業について協議したいと思います。

(西村委員)

「受動喫煙防止対策助成金」については、受動喫煙防止策の推進は必要であると思いますが、国の政省令がまだ公布されておらず対象となる施設の基準などが明らかとなっていない中で具体的な助成先が見えないこと等からB評価としました。

(山口会長)

事業を推進して行こうという中で実績がないとはいえ1件の予算要求というのは寂しいという思いはあります。具体的な所が見えていないということもありますので何かコメントを考えてみたいと思います。

(山本委員)

施行規則が出てなくて、それが出てからでないとい具体的に各店の方がどれくらい、どうしなければいけないのかということがないと行政の指導も難しいでしょうが、今後オリンピックを控えて推進される見込みがあるので、先ずは1件としたのだと思いA評価としました。

(山口会長)

分かりました、それでは総合評価はA評価とし皆さんの意見を整理しコメントを考えたいと思います。

次に、「立地企業等協力金」については、対象業種を絞っていることで公平性の面で多少の懸念があるなどの思いがありましたがいかがですか。

(神田委員)

おおたかの森駅など駅近で便利な所では、既に開業している子どもクリニックがあるにも係わらず、補助で優遇してまでこのような場所に誘致する必要があるのか疑問に思います。

また、少し不便なところにこそ小児科誘致のための優遇措置が必要なのではと思いますし、駅前ロータリー付近などは対象外としても良いのではないかと思います。

(山口会長)

おおたかの森では相当数の人口増がありますし、駅前には人が集まりやすいということもあるので複数のクリニックが開業し、少し離れたところでは子供の数も少ないということもあるのかと思います。

ただし、子どもは年々成長しますので小児科も乱立するのは良くないと思います。
(神田委員)

車で行く場合などは駅前よりも少し離れたところの方が便利なので、そのような所こそ優遇措置を講ずるべきと思います。

(西村委員)

この制度では場所の特定はしていないし、大きな開発の流れとして仕方がないのかなと思います。

(山口会長)

業種が限定されていることの不公平感、特定地域に集中することへの危惧などについては、答申書のコメントに入れるよう考えたいと思います。

(山本委員)

審議会で議論すべきことは、政策について言うのではなく補助をすることによってどのような効果があったのか、市民生活にどのような影響があったかなどであり、そのことについてももう少し具体的な説明がほしかったなと思いました。

(山口会長)

議論になっているのは、この補助を出すことに対して市民感覚としてどうだろうかということ、少し政策の部分に入り込んではいませんが、制度そのものは市の決定事項ですので、当審議会では補助金の支出についての妥当性や適切性などについて議論していきたいと思います。

次に「就労支援施設利用者負担助成金」、「私立保育所等AED設置事業補助金」及び「私立幼稚園AED設置事業補助金」については全てA評価でしたので、次の「流山花火大会事業補助金」についてご意見ございますか。

(西村委員)

評価表のコメントにも書きましたが、このイベントの主たる増額要因はオリンピック・パラリンピックと実施時期が重なるため警備員の確保等が競合するためです。

他の花火大会では、既に実施時期を変更している所もあるようですので、本市においても実施日の変更などを考え経費の軽減策を図るべきと考えます。

(山口会長)

分かりました、それでは開催時期の変更なども含めて検討されるようコメントに加えてきたいと思います。

次に、新規事業の「農林水産業の振興に関する補助金（荒廃農用地有効活用事業奨励金）」についてご意見ございますか。

私としては、皆さんからもご意見ございましたが、やはり所有者責任というのがあると思いますので、その辺のことはコメントに入れたいと思います。

(田中委員)

高齢化で後継者がいないとは言っても、荒廃させずにきちんと管理している人もいるのに、管理せずに放って置いて荒廃農地を貸す時だけ補助するというのは不公平感があります。

(山口会長)

分かりました、そのような意見も含めてコメントを考えたいと思います。

次に、「農林水産業の振興に関する補助金（米飯給食における地産地消推進事業）」について、何かご意見ございますか。

(山本委員)

昨年度も聞きましたが、米買取価格と自主流通米との差額について補助するものですが、常に上限額で固定化していることについては担当課から納得のいく説明がなかったように思いました。

また、差額が上限額を超えるのであれば、上限額の見直しを行うなどして、ある程度変動的な補助金とすべきではないかと思えます。

(川上委員)

農業に対する補助制度は多くあり、市民感覚で言うと農家を補助するために学校給食で地元産米を使っているように見えます。

また、給食に供給している米の等級を確認したところ、一等米ということでしたが、米の出来不出来に係わらず、良い品質の米を安定的に供給するというコメントを入れていただきたいと思えます。

(山口会長)

この補助金は、地産地消を推進するために学校給食に地元産米を使うということで、制度そのものに対する異論はないと思えます。

ただ、補助金の出し方や結果として農家保護的な見方をされてしまうのではないかという意見だと思えます。

他に意見が無ければ、先程の上限額見直しの検討や給食米（一等米）の安定供給の件については何かコメントに入れるよう考えたいと思えます。

次に、「農業振興資金利子補給金」と「土地改良施設維持管理費補助金」は全員A評価ですので妥当であるとして、次の、「流山商工会議所事業補助金」については皆さんからもご意見ございましたが、修繕などについてはきちんと積立をして自主財源を確保すべきと考えますので、その辺のことをコメントに入れたいと思えます。

次に、「商業振興共同施設設置等事業費補助金」についても妥当なものではあるが、県と市、各商店街のそれぞれが3分の1ずつ負担するとの説明がありましたが、市が補助する3分の1はあくまで限度（3分の1以内）を定めたものなので、これを既得権化することなく自助努力等を要望したい旨をコメントに入れたいと思えます。

次に、「商店街空き店舗有効活用事業等補助金」については全員A評価ではありませんが、5年未満の補助期間後も安定した持続経営ができるようコメントに入れたいと思えます。

(川上委員)

配付された資料の記載に5年未満とありますが、実行プランにはそのような記載がなく分かりにくいと思えます。

(山口会長)

補助期間などは補助要綱で決まっていることと思いますので、基本的な項目は出来るだけ記載とするよう担当課に指導してください。

(川上委員)

補助金全体についての印象ですが、空き店舗と創業者や学校給食と地産地消など何かと何かを絡めて補助するのではなく、もっと単純な補助制度にしてほしい。

(山本委員)

何でもシステムに石を投げれば波が立つように、例えば空き店舗が利用されれば市民の経済的な面だけではなく、安全安心な地域づくりにも波及してくるように、どうしても複数の目的が重なってくるのは仕方のないことだと思います。

もちろんシンプルな制度の方が評価しやすいということはあると思います。

(山口会長)

他になければ、最後に本日の審議内容を確認したいと思います。

《1件目の総合評価から意見(コメント)内容について順に確認》

今回は、私の方で本日の意見(コメント)を整理して答申案をお示ししたいと思います。

日程的には、次回12日と18日で答申案をまとめ21日の答申としたいと思います。

最後に事務局から何かありますか。

(事務局)

特にありません。

(山口会長)

これをもちまして、本日の会議は終了とします。

ありがとうございました。

閉 議 11時05分

流山市補助金等審議会
会長 山口 今朝勝